

広報 三重地域センター 令和8年4月号

長崎市役所 三重地域センター R8.3.18 No.61号
〒851-2204 長崎市三重町1098番地1
業務時間 平日8:45~17:30
電話 095-850-1111
FAX 095-840-1001
E-mail: br_mie@city.nagasaki.lg.jp



三重地域センター管内人口19,526人(男9,471人 女10,055人)8,630世帯(令和8年2月末現在)

地域のみんが主役！ 第2回 さくら祭りin畝刈が開催されました！！

3月7日住民の交流と融和、支えあう地域の実現を目指す取組みの一環として畝刈小学校区まちづくり協議会(入口初則会長)が主催する「第2回さくら祭りin畝刈」が、さくらの里運動公園を会場に開催されました。

今回はメイン会場が大芝生広場に変更され、周辺にキッチンカーや露店を配置。昨年に比べ会場はコンパクトになりましたが、多くのご家族連れやお友達など1,500人以上が訪れ、楽しい時間を過ごされていました。地域出店のお店には素敵な手作りの品々が揃い、中には目を見張るほどの大作も。ステージでは、子どもたちによるダンス、民謡、フラダンスのほか、歌や演奏が会場を盛り上げました。また、畝刈小学校児童による「sakuraコンサート」では、元気いっぱいの歌やダンスに大きな拍手が送られていました。

「地域にある遊具で遊ぼう！」(同協議会子ども・自然・生活環境部会運営)では、輪投げや玉入れなど昔ながらの遊びに汗びしょりになるほど夢中になる子どもたちと、サポートする同部会メンバーの優しい笑顔が印象的でした。メンバー手作りのおもちゃの中には、かわいい、インテリアにもなりそうなイルカ型「イライラ棒」も。意外に難度が高く「難しい～」と苦笑いしながらもはまってしまっ出来栄えて、超人気でした。

安全安心・防災部会が運営するコーナーでは、消火器体験に子どもたちが大集合。消防士によるコンセント発火の実演付き解説、防災食の試食配布などもありました。

各部会の方々がそれぞれ一丸となり得意分野を發揮。新たにメンバーとして参加する方も増え、コミュニティの輪の広がりも感じました。



やさしい先輩たちも優しくエスコート！ もうすぐ1年生あつまれ!!

2月28日鳴見台小学校区コミュニティ協議会(中本年信会長)が主催する「もうすぐ1年生あつまれ！」が開催されました。

校区内には未就学児の教育・保育施設がなく、入学し初めて互いに顔を合わせることや環境の変化への不安の声を受け、地域を挙げてスムーズな就学を応援しようとスタートし、今年で3回目となります。

一室に集まった保護者の方々は、グループごとに分かれて就学で心配に思っていることを出し合って共有。森校長から丁寧なアドバイスを受け、不安が和らいだとの声が聞かれました。



その間子どもたちは、体育館でもぐらたたきなど手作りおもちゃで夢中になって遊んでいました。子ども達が安心して遊べるよう育友会や民生委員・児童委員はじめ地域の方々が、明るく優しく声をかける姿が印象的でした。その後保護者も加わり、地域の方々も一緒になって「ジャンケン列車」などで大盛り上がり。

そして、通学路や安全に登下校するための注意事項を学び、入学への心構えもばっちり。最初は緊張していた子どもたちも、最後は笑顔で体育館を後にしていました。



＜素晴らしいサポートを行った5年生のお兄さんお姉さんたち！＞

今回、新たな取り組みとして5年生児童がサポーターとして参加。トイレ誘導や付き添い、遊び相手などやさしく寄り添う先輩たちともふれ合うことができ、入学がより楽しみになったのではないのでしょうか。

火災に備える！ 三重小学校区で防災訓練が開催されました!!

三重小学校区まちづくり協議会(小里史規会長)では、誰もが安心・安全に暮らし続けられる地域づくりの一環として3月8日「防災フェスタ」を開催しました。今回は自治会、民生委員、婦人防火クラブなど地域の団体やご家族連れのほか、校区内の福祉施設職員など約80名が参加しました。市消防局及び防災危機管理室による講話のほか、火災発生を想定した訓練が実施され、日頃の備えや災害発生時の行動などを確認しました。バケツリレーでは参加者が2列に並び、水が入ったバケツをこぼさないように素早く手送り。想定した火元に水をかけると即座にバケツを折り返します。スピードだけでなく、正確さ、チームワーク、慎重さが求められますが、みんなで声をかけあい息もぴったり。初体験の方が多く、意外に大変と感じられた様子。消火器の使用方法は「ピノキオの手順(①ピンをぬく、②ノズルを火元にむける、③キョリ(距離)をとる、④オす!!)」。皆さんでさっそく実践し、手順どおりに操作することができました。子どもたちも重い消火器をがんばって運び、上手に噴射していました。訓練には三重地区消防団からたくさんの協力があり、ポンプで防火水槽から吸水し放水する様子も披露してくれました。迫力ある放水と技術力の高さに圧倒。地域防災の中核を担う消防団の存在の重要性が参加者の皆さんの印象に残りました。

今回の訓練は、昨年11月に大規模火災が発生した大分市佐賀関と地形が類似していることを強く意識し企画されたものです。

訓練を通じて、災害発生時こそ地域での協力連携は不可欠なものであるとあらためて感じさせられました。



登下校時の見守りに、地域の応援を!!

鳴見台小学校区地域子育て憲章を制定し、望ましい子育て環境づくりを目指す同校区コミュニティ協議会では、児童の登下校時の見守りを軽減し地域で支えあう仕組みを作ろうと検討を進めています。

3月6日検討会議が開催され、憲章立案者である森口純一理事や児童委員など協議会メンバーのほか、育友会、学校関係者が参加して、今後の具体的な取り組みについて協議が行われました。

現在、登校時には育友会、民生委員・児童委員、長崎市交通指導員など様々な団体や個人の方々が見守りをしています。

豊洋台団地に住む子ども達の多くはバス通学です。朝の登校時は通勤ラッシュも重なり団地内にはたくさんの車が行き交っています。バス停近くの横断歩道は下り坂やカーブの途中に設置されているものもあり、横断には細心の注意が必要です。2月開催の「鳴小みらいトーク」でも保護者の方々から不安の声が聞かれました。

毎週月曜日、豊洋台車庫バス停近くの横断歩道では、民生委員の宮崎栄子さんが子ども達に「おはよう」と声をかけながら横断を見守っています。宮崎さんによると、下り坂でカーブになっており、ほとんどの車は児童を渡らせるときに減速して停車してくれるのでよいが中にはスピードを落とさない車もいるので、運転者ともアイコンタクトを取りながら慎重に子ども達を横断させているとのこと。

他の同団地内2つのバス停などではご家族や育友会、白髪や光風台団地では危険箇所を中心に交通指導員や民生委員の方々が立哨し子供たちを見守っています。

同協議会では、見守り活動に対する物理的・心理的ハードルを分析し、共働きや未就学児がいる子育て世代と保護者以外の地域の方々が参加しやすい仕組みを模索し、担い手を増やしながらか持続可能な地域での見守り実現を目指しています。



地域のヒーロー！ 住民の皆さんの安全・安心のために頑張っています!!

三重地区消防団では日頃から、災害対応の技術・知識の習得、確認のためさまざまな訓練を実施しており、3月8日三重みなと公園で基本動作や器具取扱等の訓練が実施されました。先輩の熱心な指導の様子に、高い技術が脈々と継承されていることが伝わります。普段の優しい表情とは異なる真剣な眼差しと機敏な動作に、とても頼もしさを感じました。続けて三重川へ移動し、山林火災を想定した放水訓練では、団員一丸となってポンプを操作。徐々に水圧を変えて放水技能を磨きました。団結力や連携力、きめ細かな情報伝達の重要性も伝わってくる場面でした。三重地区消防団の皆さんは、厳しい災害現場での対応に備えて日頃から訓練を続けるだけでなく、パーロンや盆踊り、三重くんちなどの伝統行事や、さまざまな地域活動においても中心となって力を発揮しています。多忙な中、地域を支え、多大な貢献をしてくださる団員の皆さんに心より感謝申し上げます。



消防団員募集中！ 応募資格や処遇などはホームページをご覧ください。
お問い合わせ先：長崎市消防局予防課市民消防係（電話095-822-0425）



日頃の練習の成果を披露！ 吹奏楽部の合同演奏会が開催されました！！

三重地域ではさまざまなイベントで、三重中学校と長崎明誠高校の吹奏楽部が演奏を披露し、会場の雰囲気盛り上げています。3月8日、両校による合同演奏会が開催され、日々の練習の成果を発揮しました。それぞれ分かれてのステージでは、持ち味を生かした完成度の高い表現を披露し大盛り上がり。合同ステージでは、調和のとれた豪華な演奏に会場は拍手喝采でした。

全体の息が揃った演奏だけでなく、ソロパートもしっかりと楽器の音色が響き渡り、日々の頑張りが伝わってくるもので、何度でも聴きたくなる素晴らしいものでした。

両校のこれからの活躍に期待しています。



ながさき型地域貢献企業等認定

長崎市では地域貢献活動へ参画し、又は地域貢献活動休暇の制度を有する企業等について、「ながさき型地域貢献企業等」として認定することにより、多様な主体の協働による持続可能な地域コミュニティの実現を図ることとしています。

3月16日認定式が開催され新たに6事業所が認定されました。今回三重地域では、株式会社境鉄工所(三京町)が認定され、鈴木市長より代表取締役社長の境貴幸様へ認定証が授与されました。同社は、これまで三重地区みなと祭りへの協賛・協力を行ったほか、若手従業員の皆さまが消防団やペーロン等の伝統行事など、地域で活躍することを積極的に後押ししており、地元でも大変親しまれています。

「株式会社 境鉄工所」は昭和25年創業の老舗で、建築鉄骨その他製造業を営業種目に高い技術力を誇り、性能評価基準で国土交通大臣認定Hグレードと認定されています。



リチウムイオン充電電池等の回収スタート！！

これまで資源循環課と一部の地域センターで回収していましたが、令和8年3月2日から全ての地域センターでリチウムイオン蓄電池等の拠点回収を開始しています。

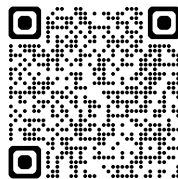
【対象】

リチウムイオン充電電池、ニッケル水素充電電池、ニッケルカドミウム充電電池、鉛蓄電池、モバイルバッテリー

※以下の画像のマークが目印です。



詳しくはこちら



地域情報
募集中！

SNSでも
地域情報を
発信中！



ホームページ



X



Facebook

使用料・手数料の見直しについて

令和8年4月1日から使用料、手数料が改定となります。

詳しくはこちらをご覧ください

